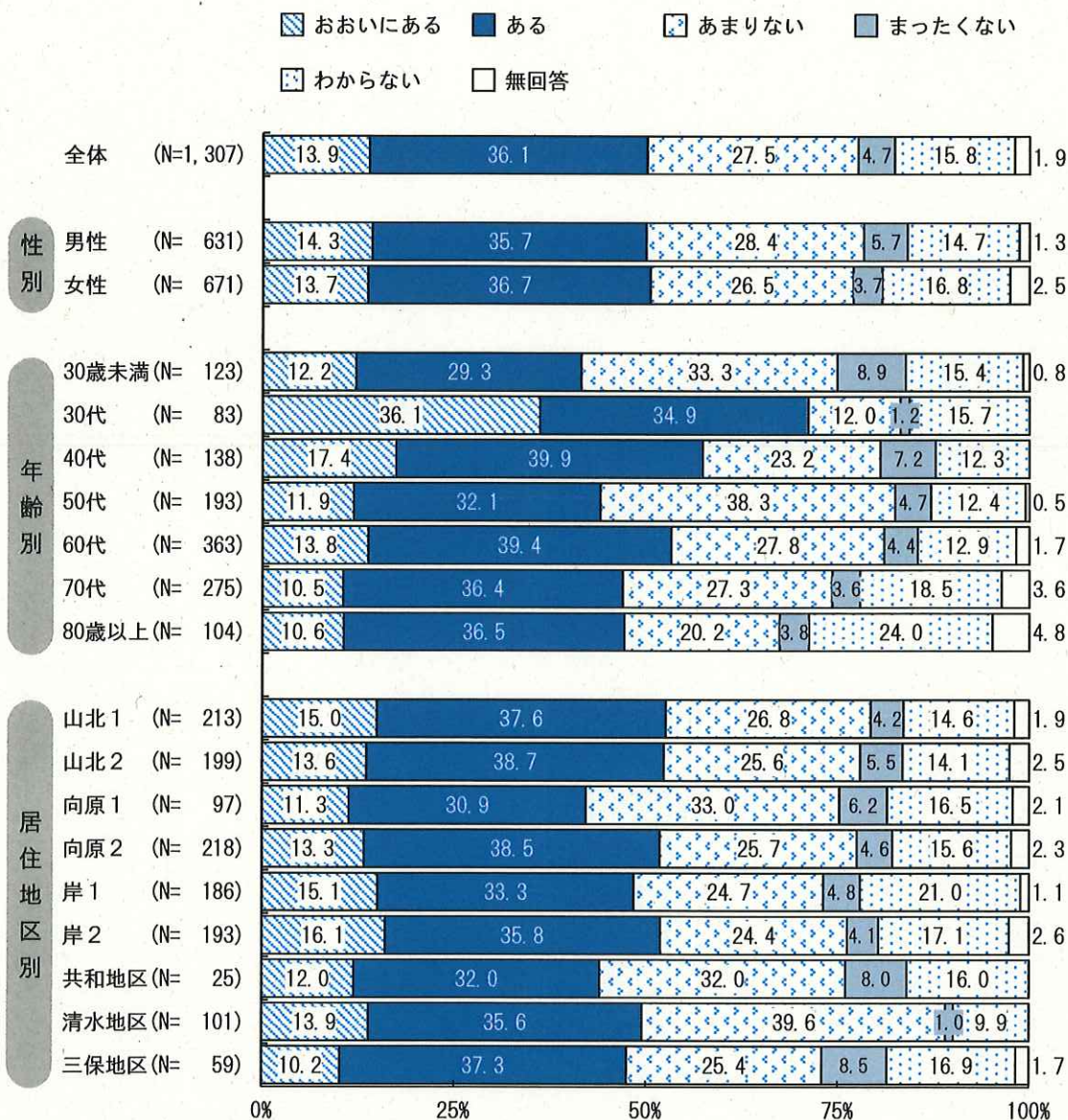


9 教育について

(28) 町の教育に関心があるか

問19 町の教育に関心がありますか。(○は1つだけ)



◆全体でみると、「ある」36.1%が最も多く、以下「あまりない」27.5%、「おおいにある」13.9%、「まったくくない」4.7%となっています。

「おおいにある」と「ある」を合わせた『ある』は50.0%、「あまりない」と「まったくくない」を合わせた『ない』32.2%となっています。

◆年齢別でみると、30代は「おおいにある」36.1%が、他の年齢よりも多くなっています。50代は「あまりない」38.3%が、他の年齢よりもやや多くなっています。

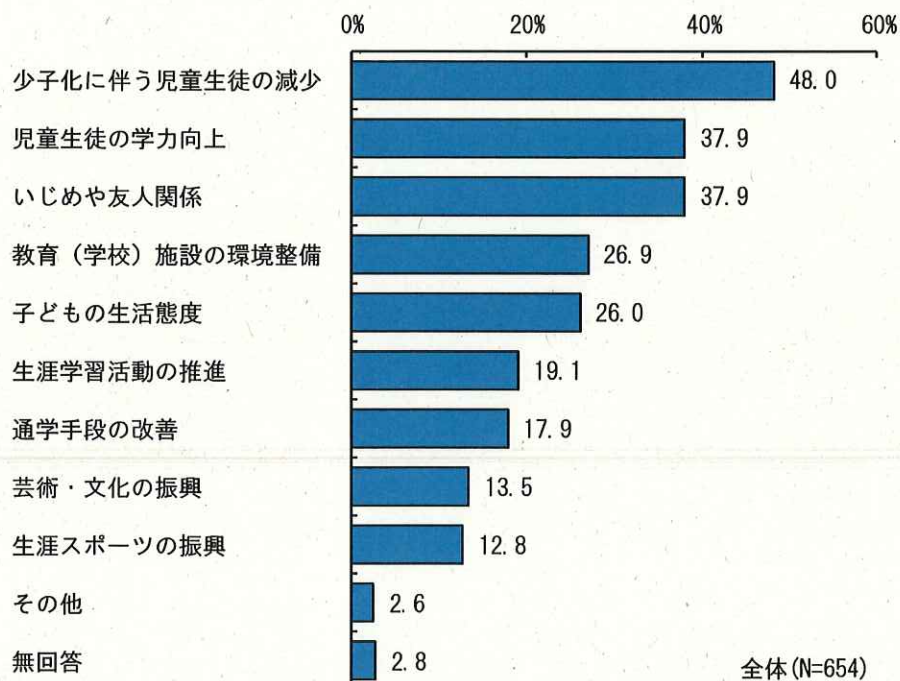
『ある』は、30代が71.0%と最も多く、以下40代が57.3%、60代が53.2%となっています。

◆居住地区別でみると、向原1と共和地区は『ある』が他の地区よりもやや少なくなっています。

(29) 関心がある課題

問19-1 関心がある課題は何ですか。(○は主なもの3つまで)

※問19で、「おいにある」又は「ある」と答えた方のみ。



(単位%)

	調査数(人)	少子化に伴う児童生徒の減少	児童生徒の学力向上	いじめや友人関係	教育(学校)施設の環境整備	子どもの生活態度	生涯学習活動の推進	通学手段の改善	芸術・文化の振興	生涯スポーツの振興	その他	無回答
全体	654	48.0	37.9	37.9	26.9	26.0	19.1	17.9	13.5	12.8	2.6	2.8
性別												
男性	315	50.2	38.7	36.8	28.6	24.1	16.5	17.1	12.4	13.7	2.5	2.5
女性	338	46.2	37.0	39.1	25.4	27.8	21.3	18.6	14.5	11.8	2.7	3.0
年齢別												
30歳未満	51	52.9	27.5	35.3	41.2	27.5	-	23.5	13.7	19.6	5.9	-
30代	59	40.7	54.2	44.1	37.3	28.8	6.8	27.1	10.2	8.5	3.4	1.7
40代	79	49.4	57.0	35.4	25.3	25.3	12.7	25.3	13.9	11.4	3.8	-
50代	85	47.1	32.9	40.0	23.5	25.9	22.4	18.8	16.5	9.4	1.2	2.4
60代	193	53.4	32.6	35.8	31.1	24.4	23.8	17.6	13.0	13.5	1.6	3.1
70代	129	45.0	33.3	39.5	18.6	24.8	24.8	10.9	14.0	14.0	3.1	4.7
80歳以上	49	36.7	38.8	36.7	16.3	32.7	24.5	6.1	10.2	12.2	2.0	6.1
居住地区別												
山北1	112	50.0	35.7	42.0	20.5	30.4	20.5	14.3	14.3	17.0	5.4	0.9
山北2	104	42.3	40.4	35.6	25.0	25.0	19.2	15.4	12.5	14.4	1.0	5.8
向原1	41	48.8	43.9	46.3	34.1	24.4	17.1	22.0	12.2	-	-	4.9
向原2	113	44.2	40.7	35.4	24.8	28.3	15.0	15.9	15.0	12.4	4.4	1.8
岸1	90	46.7	37.8	37.8	36.7	27.8	20.0	15.6	10.0	14.4	2.2	3.3
岸2	100	36.0	40.0	44.0	32.0	29.0	25.0	16.0	12.0	12.0	2.0	1.0
共和地区	11	54.5	18.2	36.4	9.1	36.4	27.3	27.3	36.4	18.2	-	-
清水地区	50	66.0	30.0	30.0	28.0	14.0	16.0	26.0	8.0	10.0	-	4.0
三保地区	28	85.7	25.0	28.6	17.9	7.1	10.7	42.9	25.0	7.1	3.6	3.6

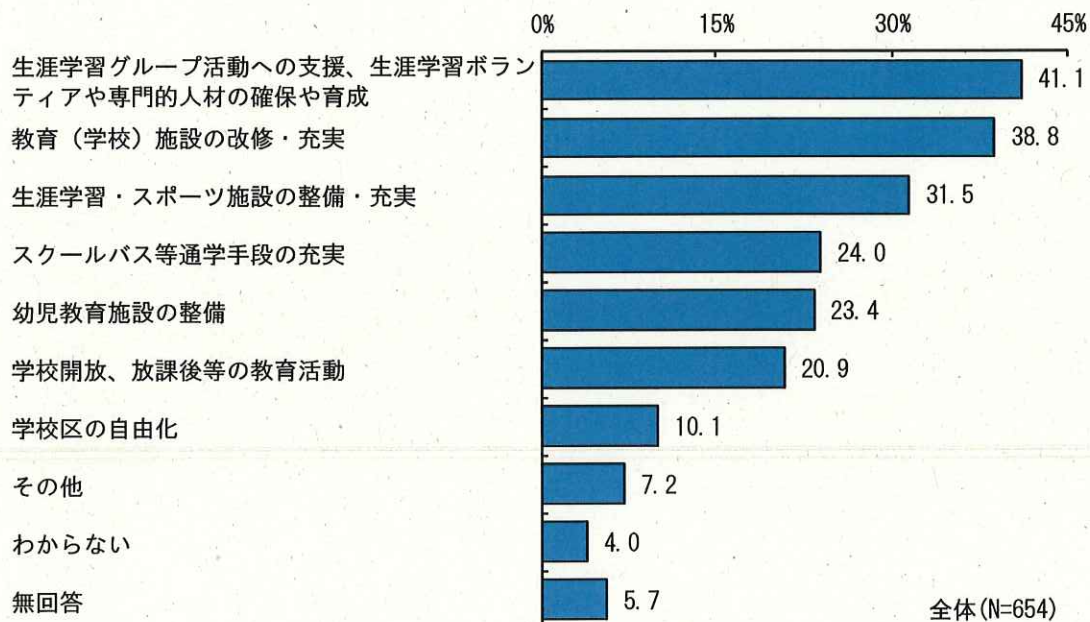
凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体でみると、「少子化に伴う児童生徒の減少」48.0%が最も多く、以下「児童生徒の学力向上」と「いじめや友人関係」が37.9%、「教育（学校）施設の環境整備」26.9%、「子どもの生活態度」26.0%となっています。
- ◆性別みると、男性の2位は「児童生徒の学力向上」38.7%、女性の2位は「いじめや友人関係」39.1%となっています。
- ◆年齢別でみると、30歳未満と50代から70代の1位は「少子化に伴う児童生徒の減少」となっています。30代・40代・80歳以上の1位は「児童生徒の学力向上」となっています。
「通学手段の改善」は40代以下が多く、「生涯学習活動の推進」は50代以上が多くなっています。
- ◆居住地区別でみると、岸2を除いたすべての地区で1位は「少子化に伴う児童生徒の減少」となっています。岸2の1位は「いじめや友人関係」44.0%となっています。
向原1・岸1・岸2は「教育（学校）施設の環境整備」が、他の地区よりもやや多くなっています。

(30) 課題を解決するために必要な対策

問19-2 問19-1 で回答いただいた課題を解決するためには必要な対策は何ですか。

(○は主なもの3つまで)



(単位%)

	調査数 (人)	生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成	教育（学校）施設の改修・充実	生涯学習・スポーツ施設の整備・充実	スクールバス等通学手段の充実	幼児教育施設の整備	学校開放、放課後等の教育活動	学校区の自由化	その他	わからない	無回答
全体	654	41.1	38.8	31.5	24.0	23.4	20.9	10.1	7.2	4.0	5.7
性別											
男性	315	35.9	43.5	36.2	24.4	24.8	20.6	10.5	8.6	4.8	4.4
女性	338	45.9	34.3	26.9	23.7	22.2	21.3	9.8	5.9	3.3	6.8
年齢別											
30歳未満	51	25.5	54.9	37.3	17.6	23.5	29.4	9.8	3.9	3.9	2.0
30代	59	30.5	52.5	23.7	30.5	33.9	23.7	22.0	11.9	3.4	1.7
40代	79	38.0	45.6	27.8	29.1	22.8	20.3	7.6	13.9	3.8	1.3
50代	85	48.2	35.3	30.6	25.9	12.9	15.3	8.2	4.7	5.9	2.4
60代	193	44.0	38.9	31.1	23.3	28.0	22.3	13.0	7.8	3.6	4.7
70代	129	45.7	31.0	34.9	17.1	20.9	23.3	4.7	5.4	3.1	11.6
80歳以上	49	42.9	24.5	34.7	30.6	18.4	12.2	8.2	2.0	6.1	12.2
居住地区別											
山北1	112	38.4	38.4	35.7	25.0	24.1	22.3	3.6	7.1	5.4	6.3
山北2	104	42.3	38.5	26.9	17.3	21.2	15.4	7.7	8.7	3.8	8.7
向原1	41	34.1	58.5	34.1	22.0	24.4	31.7	4.9	2.4	-	7.3
向原2	113	46.0	31.9	37.2	17.7	28.3	15.0	8.8	7.1	4.4	6.2
岸1	90	33.3	46.7	28.9	26.7	30.0	24.4	8.9	8.9	5.6	3.3
岸2	100	52.0	38.0	32.0	22.0	19.0	24.0	12.0	8.0	3.0	2.0
共和地区	11	45.5	9.1	45.5	27.3	9.1	18.2	18.2	-	9.1	-
清水地区	50	36.0	48.0	26.0	32.0	18.0	20.0	16.0	2.0	4.0	6.0
三保地区	28	28.6	17.9	14.3	60.7	17.9	25.0	42.9	10.7	-	7.1

凡例: 1位 2位 3位

- ◆全体でみると、「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」41.1%が最も多く、以下「教育（学校）施設の改修・充実」38.8%、「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」31.5%、「スクールバス等通学手段の充実」24.0%、「幼児教育施設の整備」23.4%となっています。
- ◆性別でみると、男性の1位は「教育（学校）施設の改修・充実」43.5%で、2位は「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」36.2%、3位は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」35.9%となっています。女性の1位は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」45.9%、2位は「教育（学校）施設の改修・充実」34.3%、3位は「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」26.9%となっています。
- ◆年齢別でみると、40代以下の1位は「教育（学校）施設の改修・充実」で、40代が45.6%、30代が52.5%、30歳未満が54.9%と、年齢が下がるほど多い傾向がみられます。50代以上の1位は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」となっています。
30代は「幼児教育施設の整備」33.9%や「学校区の自由化」22.0%が、他の年齢よりもやや多くなっています。
- ◆居住地区別でみると、向原2と岸1は「幼児教育施設の整備」が、他の地区よりも多くなっています。岸2は「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」52.0%が、他の地区よりも多くなっています。